

「確かな学力の育成」のための 授業改善の視点と具体的手立て 3

国語科 算数・数学科 社会科 理科



児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるためには、1時間1時間の授業において具体的な指導法の改善を図り、日々の授業を充実させることが重要です。

そこで、南部教育事務所として、「確かな学力の育成」のために、児童生徒一人一人の学習意欲を高め、基礎的・基本的な知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力等の育成を目指した「授業改善の視点と具体的手立て」を作成しました。

◇第1集＝中学校国語科及び数学科

◇第2集＝小学校国語科、算数科及び中学校社会科、理科、外国語科

◆第3集＝小学校社会科、理科及び中学校国語科、数学科

1時間の授業改善の視点、具体的手立てという観点から、どの題材も小学校・中学校共に参考にしていただけるものとなっています。各校の児童生徒の実態に合わせてながら、「確かな学力の育成」を目指した日々の授業改善に向けて本資料を御活用ください。

授業改善3つのポイント

南部教育事務所管内の各学校の状況をみますと、「確かな学力の育成」のためには、以下の3点が課題としてあげられます。

- ① 見通しと振り返りのある授業←課題の提示・板書の工夫等
- ② 体験的・問題解決的な学習を取り入れた授業←学習課題の工夫等
- ③ 言語活動の充実を図った授業←思考の場、交流の場等の設定等

この3点は学習指導要領解説総則編の「教育課程実施上の配慮事項」に示されている内容でもあります。

本資料においては、各教科の学習指導事例の中に、この3点を含めた授業改善のポイントや留意点を吹き出しによって示してあります。

☆各学校においては、埼玉県小・中学校学習状況調査結果等を活用し、自校の課題を明確にし、授業改善を図っていく必要があります。

平成23年12月
埼玉県教育局南部教育事務所



埼玉県マスコット「コバトン」